

救命医療は、  
早ければ早いほど救命率が高いので、

# 説明して同意を得る 時間がありません

今、死にそうな動物に対して、**救命処置**として  
気道確保(気管チューブ挿管)、人工呼吸、心臓マッサージが行われます。  
点滴や血圧や利尿剤などの注入のために、  
血管確保(血管留置)も行われます。

これらは、迅速行われたら迅速に行われるほど  
**救命率が高い**ため、  
手術のように事前説明して同意を得られません。

**救命処置は**  
そのような医療であると  
ご承知ください

救命医療は早ければ早いほど救命率が高いので説明して同意を得る時間がない  
[https://www.vets.ne.jp/manager/pc/20260122\\_1.html](https://www.vets.ne.jp/manager/pc/20260122_1.html)

続きはWebで  
お読みください

